

## 第1回（仮称）滝沢南スマートインターチェンジ地区協議会 議事概要

### 1 協議会開催の日時及び場所

- (1) 日時 平成25年2月15日（金） 9:55～10:45
- (2) 場所 滝沢村滝沢字土沢 265 - 3  
滝沢ふるさと交流館 1階学習室

### 2 協議会を構成する委員総数及び出席者

- (1) 協議会を構成する委員総数 12名
- (2) 委員出席者 12名

国土交通省東北地方整備局企画部広域計画課長 浜岡 正 委員  
国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長 高橋 公浩 委員  
東日本高速道路株式会社東北支社総合企画部総合企画課長 金田 泰明 委員  
東日本高速道路株式会社東北支社管理事業部管理事業統括課長 後藤 優 委員  
東日本高速道路株式会社東北支社盛岡管理事務所長 渋谷 優 委員  
岩手県県土整備部道路建設課総括課長 高橋 修 委員  
岩手県盛岡広域振興局土木部長 野中 聡 委員(代理土木部道路河川室長 佐藤 守)  
岩手県警察本部交通部交通規制課長 藤原 行雄 委員  
盛岡市建設部長 及川 一男 委員  
滝沢村自治会連合会長 瀬川 幸男 委員  
滝沢村商工会長 阿部 正喜 委員  
新岩手農業協同組合代表理事組合長 福田 稔 委員(代理代表理事専務 久保 憲雄)

#### 担当

都市整備部湯沢部長、交通政策課 三上課長、日向主任主査、五十嵐主査

### 3 議事

- (1) 開会（都市整備部 湯沢部長）

9:55、全員集合のため都市整備部湯沢部長により開会の宣言

- (2) 村長挨拶

本日は「第1回（仮称）滝沢南スマートインターチェンジ地区協議会」の開催に当たり、委員の皆様方にはお忙しいところご出席をいただき、大変ありがとうございます。  
滝沢村では、平成20年度からスマートインターチェンジ整備に向けての検討を開始し昨年度から調査等の本格的な検討を進め、国、県、ネクスコさんをはじめ関係者の皆様と、これまで延べ8回に及ぶ勉強会において様々な協議、調整を重ねながら、本日の地区協議会開催の運びとなりました。改めて御礼申し上げます。

本村の最大の課題は産業振興、雇用の拡大、若者定住や活力の維持であります。現在、平成26年1月1日の市制に向けて取り組んでいるところであります。

このスマートインターチェンジは滝沢がさらに発展するため非常に大きな要素となりま

すので、年度内の連結申請に向けて、委員の皆様におかれましては、この度作成しました実施計画書につきまして、本日のご審議をよろしく申し上げます。

(3) 地区協議会設置要綱について（説明者 都市整備部交通政策課 三上課長）

ア 地区協議会の設立趣旨について

滝沢村では、滝沢インターと盛岡インターの間にスマートインターチェンジの設置に向けた取り組みを進めてきており、昨年2月から国土交通省、東日本高速道路株式会社、岩手県、滝沢村をメンバーとした（仮称）滝沢南スマートインターチェンジ勉強会を設置し、構造形式などについて事前の検討を実施。これを実施計画書（案）としてまとめ、この度、この内容を検討、調整していただくため地区協議会を設立したものの。

イ 協議会設置要綱について

「資料1（仮称）滝沢南スマートインターチェンジ地区協議会設置要綱」を説明  
各条を説明し、軽微なものについては書面による決議も可能、協議会の経費については村で負担することも説明。

ウ 質疑

- ・質疑等なし。

(4) 委員紹介（都市整備部 湯沢部長）

都市整備部 湯沢部長より、本日の出席者名簿により、委員及び代理出席者を紹介

(5) 経過報告及び検討事項について（説明者 交通政策課 三上課長）

「資料2（仮称）滝沢南スマート IC に係る検討経緯等」を説明

ア 経過報告について

資料により、今までの検討経緯を説明。

イ 協議会の検討事項について

資料により、協議会での検討事項を説明。

- ・スマート IC の社会便益、周辺道路の安全性、採算性、構造及び整備方法、管理・運営方法、広域的検討結果の反映、その他スマート IC の設置、管理、運営に必要な事項を検討していただき実施計画書（案）を確認いただくもの。
- ・地区協議会はスマート IC の供用開始後においても安全性や採算性、管理・運営形態等についても定期的にフォローアップし採算性の確保が困難な場合については、採算改善に係る対応方針を、策定していただくこととなる。
- ・当協議会参加の皆様におかれましては、スマート IC の安全かつ円滑な設置及び管理運営に今後ともご協力いただきたい旨を説明。

ウ 質疑

- ・質疑等なし。

(6) 議事 (説明者 交通政策課 五十嵐主査)

「(仮称)滝沢南スマートインターチェンジ計画について」

ア 実施計画書(案)について

- ・資料4に基づき担当課から実施計画書(案)のを説明。
- ・説明内容は、連結予定位置、スマートICの必要性、採算性、費用対効果、全体事業費、事業区分、供用予定年等について

イ 質疑等

瀬川委員

- ・村では昭和43年に自治会が発足し、当時13,000人位の人口であったが、今現在は、54,000人を超えている。人口に即した交通体系となっているかといえ、なかなか難しい状況にはあると思うが、国道4号直結する道路からアクセスできるということで、利用しやすく自治会連合会としても大いに賛成している。
- ・その反面、盛岡環状線は日交通量が2万台近く、慢性的な渋滞がある。このスマートICにより、環状線への影響があるのか？また、環状線の整備はどうなるのか？

村担当課

- ・交通量推計結果からも、環状線の交通量は若干減るものと推計されている。環状線については、部分改良等、県とも協力して進めている。今後とも地域の安全性が向上するように県と連携して進めたい。

阿部委員

- ・スマートICができるということは、今後の利便性も増加するので、商工会としても諸手を挙げて賛成。
- ・アクセス面でも釜石道等の整備も進捗しているので沿岸地域も身近になる。
- ・県南へのリニアコライダー誘致の話もあると思うが、少しでも早く供用開始できることを望む。

久保氏

- ・利便性の向上は理解できるが、周辺農家への影響や農地転用、移転家屋はあるか？

村担当課

- ・一部、田畑に若干かかる見通しである。今後の詳細設計で、用排水等に支障が無いような設計としたい。なお、移転家屋はない。

質疑等は以上で終了。

ウ 議事の承認

会長：「(仮称)滝沢南スマートインターチェンジの計画内容について、ご了承いただけますか。」

委員：「はい」と呼ぶものあり

会長：ありがとうございます。（仮称）滝沢南スマートインターチェンジの計画については原案のとおり了承いただきました。

(7) その他（説明者 交通政策課 三上課長）

「今後のスケジュールについて」と「住民周知について」を一括して説明。

ア 今後のスケジュールについて

- ・資料2により、今後の流れを説明。
- ・年度内の実施計画書提出に向け、進めていきたい。

イ 住民周知について。

- ・3月上旬に当協議会の議事概要をホームページに掲載予定。
- ・連結許可後の説明会実施を予定。

ウ 質疑

- ・質疑等なし。

(8) 閉会（都市整備部 湯沢部長）

10：45 都市整備部湯沢部長により閉会の宣言